

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		生活支援センターえがおⅡ		公表日 令和7年2月25日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		広々としたスペースを確保しており、個々に合わせてマットレス、ベッドの配置をしています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		1:1~2の配置をしており、一人ひとりに合わせた手厚い支援ができています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		開放的な空間で、災害時の避難経路へも配慮しており、バリアフリー化した建物となっています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		常に整理整頓しており、季節を感じられるような室内、活動に合わせた空間作りを行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		スヌーズレン室やパーテーション等を利用し、フロア内でも必要に応じた空間作りができています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		全職員で取り組んでいます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		全職員で意識・改善できるように話し合い、業務改善へ繋げています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		常に意見の交換を行い、年に数回個別面談の場を設けて改善できるように努めています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		毎月の職員研修、施設外研修、オンライン研修等に参加し、支援に繋げています。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		多職種で話し合い、作成しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		アセスメント、面談を行い、こどもと家族のニーズ・意向を伺い、情報共有した上で計画を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児発管を中心に、支援会議や多職種で意見を出し合い、こどもの利益を考えながら目標に向けた支援を行っています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画に沿った支援の中で、多職種と連携を図りながら、寄り添った支援を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		各職種によるアセスメントを行っております。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインをもとに5領域に沿った本人支援、家族支援、移行・地域支援等全ての項目を入れた計画を作成しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		保育士を中心に多職種で話し合い、毎月の活動予定表を作成しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		「音楽・感覚・運動」等、いろいろな要素が含まれた活動プログラムや季節を感じられる計画を工夫しています。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		その日の子どもの様子等により、個別・集団か判断しながら支援を行っています	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼時にその日の活動目標や体調の確認、ご家族からの情報を共有し、支援を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		情報共有ノートを活用して、気づきや情報・伝達を共有できるようにしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		情報共有ノートの活用で、振り返りや改善につなげるようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		年に2回以上実施しています。 必要時にはその都度、見直しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		お子さまが選択できる機会を作り、できた喜びや達成感を感じられるように支援を行っています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児発管、担当の職員が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		情報共有に努め、共通支援を行えるよう努めています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校の送迎時や連絡等と情報共有や確認をとっています。また、必要時には会議を開催しております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		現在、並行通園の方はいらっしゃいませんが必要時には行って参ります。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		移行先、学校と一緒に会議の場を設けて情報提供を行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		地域のセンター主催の研修等積極的に参加しています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		感染リスクの面では難しい状況があります。	ご家族と相談しながら慎重に取り組んで参ります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。			研修には参加しております。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡帳や送迎時にその日の様子、健康状態、出来事をお伝えしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。			ご家族同士の交流できる会を企画し、相談を受けたり、支援に関する助言、情報提供を行っております。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		利用開始時や必要時に説明しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		面談の際に説明の場を設けて、要望を伺いながら確認できています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		ご家族のニーズ・意向を伺い計画を立案し、同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		定期的な面談を行うとともに、送迎時や必要に応じて随時相談に応じています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者同士やきょうだい同士で交流できる企画を定期的に行っています。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		申し入れ内容については職員全員で検討し、迅速に対応しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月えがお便りやSNSにて情報を発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		お子さまの様子から本人の意思を汲み取りながら支援を行っています。日々の様子を記載した連絡帳や送迎時に保護者へ伝達しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルを作成し、面談時に保護者へ説明しています。訓練も定期的に行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを作成し、定期的に訓練や研修を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		毎回、ご家族と状況の確認を行っております。また、医ケアシートを作成して対応しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		各分野(食事、プール、園外活動、送迎)でマニュアルを作成し、職員間で情報共有しています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		面談時に安全計画の取り組みの説明を行っています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		職員間で共有し、再発防止策を検討しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会を設置しており、定期的に会議や職員全体で研修を行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		安全のためのベルト着用(座位保持椅子・カーシート等)時は日々の支援記録に記載し、保護者の同意をいただいています。		